



河小だより

校区内
全戸回覧

6月22日発行

子どもたちの活躍に大きな拍手！

校長 野上 孝

もう1か月も前のことになってしまいますがお許しください。5月22日は、風が強い日でしたが、河原田小学校大運動会を無事に開催することができました。多くのご声援やお力添えをいただき誠にありがとうございました。コロナ禍の中、そして、前日までの雨のため開催できるかどうか心配でしたが、子どもたちを始め、教職員、保護者・地域の皆様の思いが通じてか、当日朝は雨も上がり、また逆に強風のお陰でグラウンドや応援席も無事乾きました。昨年度同様、午前開催の中、全力でゴールを目指す子どもたちの力走や力強い応援など、運動会ならではの光景と子どもたちのがんばりを見ることができて本当にうれしく思いました。

実は、子どもたちの活躍はそこにとどまらず、地域の方からも後日こんな声（お手紙）を寄せていただきました。紹介いたします。



～略～・・・私も遠くから子どもたちのがんばりを見ていました。その中でとってもいいなあ、さすが河原田小の子どもだな、と思ったステキな場面があったんです。～中略～

まずは、金管です。コロナや雨などで練習期間が限られている中、とっても音がまとまっていました。いい音でした。一生懸命に練習をがんばってきたんだなと思いました。精一杯できていた姿が本当に素晴らしかったです。

次に徒競走でのことです。違っていたらごめんなさい。確かあれば、〇年生の80メートル走でのことです。そのレースはとても接戦でした。ゴールして3位だった子が泣いていたんです。きっと1位になれず悔しかったんでしょう。その子が等旗のところに並んでしゃがんでいる時も泣いていたのですが、並ばせる係の子が背中をさすったり頭を撫でたりして慰めているんです。そして、シールを貼ってあげる係の子も優しく声をかけていました。その二人の様子が本当に自然で、私はとっても感動しました。なんて心の優しい子なんだろう、なんて素敵なお子なんだろうと思いました。優しさが自然に出ているところ、そういう子が河小にいることが本当に素晴らしいと思いましたし、とってもうれしかったです。泣いていた子も悔しかったとは思いますが、きっと救われたことなのでしょう。この悔しさは必ず次につながると信じています。・・・～以下略～

※手紙文中の学年は、伏せさせていただきました。

競技、応援のみならず、随所に見られた子どもたちの素晴らしい活躍に大きな拍手！河原田小の子どもたちは本当に素晴らしい子どもたちです。地域の方の温かいまなざしにも支えられている河原田小学校。これからもご支援をお願いいたします。